

サタ☆くら通信

青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を主な対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち18人を対象に、ボランティアとして登録してくれた県立保健大学・青森公立大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1で勉強を教えています。

■ご入学・ご進級おめでとうございます

新年度から、新たな子どもたちを迎え、小学5年生2人、6年生3人、中学1年生3人、2年生3人、3年生5人、高校生2人の18人となりました。

■スポーツ交流会を開催しました。

4月25日は、県立保健大学の体育館をお借りして、スポーツ交流会を開催しました。始めに、子どもと学生さんの混合チームでソフトバレーボールをしました。普段の学習会では見られない子どもたちの様子



も確認でき、これからの支援活動にも参考になりました。

その後、バドミントンと卓球に分かれて、交流試合をしました。子どもたちは卓球部が多いため、熱のこもった試合となりました。学生さんも、子どもたちと一喜一憂し、お互いの絆が深まったようです。

★平成26年度活動実績

・活動期間4/5-3/28(1/3除く) 5 1回

・主な行事等

弘前大学teens&lawとの交流会

自立センターみらいスポーツ交流

月見野森林公園デイキャンプ

県立保健大学学園祭への招待

社会福祉士会主催公開講座実践報告

浅虫水族館への社会見学

青森市母子寡婦福祉会クリスマス会

卒業を祝う会・カルタ大会

・新規登録児童 9人

・登録ボランティア 23人

・収支の状況(単位:円)

収入314,968 支出 267,813

登録料 5,000 教材費等12,576

寄付金155,000 交通費 148,800

助成金150,000 保険等 5,100

その他 4,968 行事費 62,571

会議費 38,766

■皆様の御支援に感謝申し上げます。

=====

★学習支援の申し込み★

学習支援申込は随時受付しています。

・対象は小学生・中学生。

・申込のお問合せは、青森県母子寡婦福祉連合会(電話017-735-4160)あて。

・学習費用は無料。初回時のみ登録料として子ども1人500円お願いします。

・なお、学生ボランティアの数により、申込をお断りする場合があります。